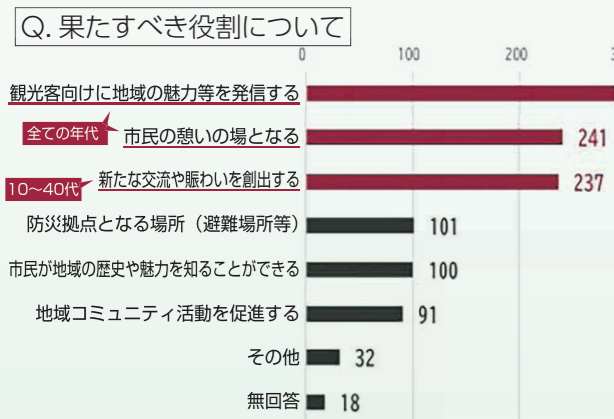


構想策定に反映した『市民意識調査など』の結果について

○市民アンケートの結果

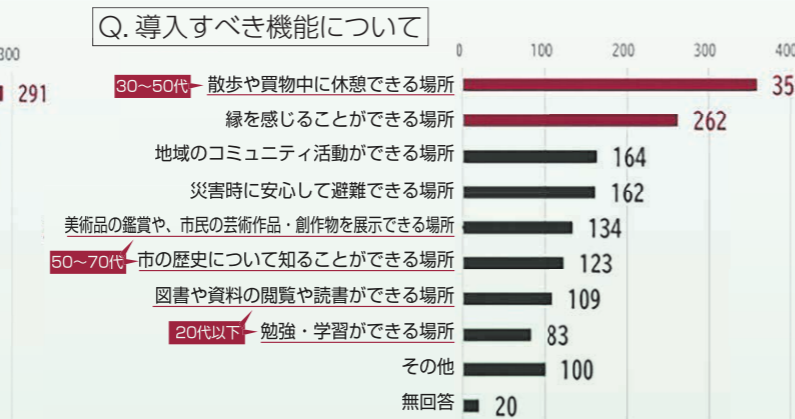
市民の意向を把握するためにアンケート調査を実施し、そこで得られた意見を構想に反映しています。

対象	市全域でランダムに抽出した市民 2,000人
回答方法	WEB 回答及び書面回答
回答期間	2025年12月1日～12月25日
回答率	650件 (回答率 32.5%)



【特徴】

- ・果たすべき役割としては、上位2項目は、全ての年代で満遍なく意見が見られました。
- ・『新たな交流や賑わいを創出する』については、特に10～40代の比較的若い層からの意見が多く見られました。
- ・導入すべき機能についての設問については、特に年代ごとの回答傾向の偏りが強くみられ、下記のグラフのとおり、20代以下、30-50代、50-70代と特徴がみられます。



○市民ワークショップの開催内容

- ・氣比神宮周辺公有地などの利活用に関する市民の意向を把握するために市民参加のワークショップを開催(計3回)しました。
- ・年代や所属が多様な19人の方に参加いただき、氣比神宮、旧敦賀北小学校跡地、その周辺について議論しました。

検討対象エリアに「必要な場・空間」

歴史・文化的価値継承・発信の拠点	地域の食材・名産品等を購入・味わうことのできる場所
休憩・飲食できる場所	駐車場、市内からの交通アクセス向上
豊かな自然や美しい景観を楽しめる空間	休憩・飲食できる場所
展示スペース、発表・創造の場	エリア内の動線の工夫・回遊性の向上
教育、地域住民の学習に資する場所	豊かな自然や美しい景観を楽しめる空間
運動や健康づくりができる場所	観光客向けの案内表示・情報提供
交流が生まれる場所	

多かった意見 (必要な場・空間について)
 ○本ワークショップを通じて松尾芭蕉や氣比神宮の歴史・文化に関連する施設、飲食・休憩ができる場所、緑が多い空間、展示スペース・発表や創造の場などについて特に多くの意見があった。
 ○整備をする際には、眺望を損なわないようにするなど、空間デザインが良い場所とすることや、環境負荷の少ない施設の整備、既存施設の活用などの必要最低限な整備とすることについて参加者の関心が高かった。



▲第1回ワークショップ



▲第2回ワークショップ



▲第3回ワークショップ

氣比の杜整備構想を踏まえ、今年度は基本計画の策定を行います。詳しくは市HPをご覧ください。



▲市HP

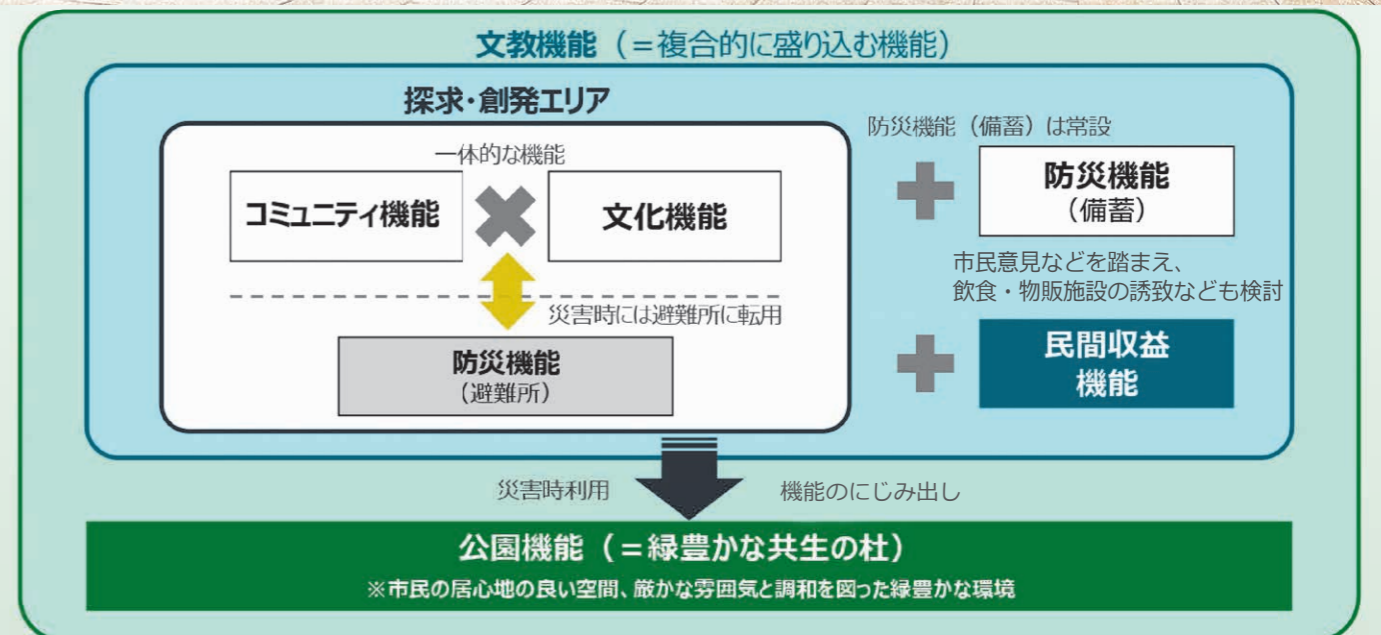
令和6年1月に敦賀商工会議所・福井県・敦賀市からなる「敦賀まちづくり協議会」を設立し、令和7年1月に新幹線開業後のまちづくりの方向性を示す「敦賀まちづくりアクションプログラム」を策定しております。
 その中で「氣比の杜整備構想の策定」を主要プロジェクトとして位置づけ、現在、敦賀市では整備に向け検討を進めています。



氣比の杜整備構想のコンセプト

敦賀の『文化の発見&発信地』として、市民の学びと交流のインフラを支える『緑豊かな共生の杜』を持つ『探求・創発エリア』

※氣比の杜整備構想とは、氣比神宮周辺公有地の利活用を指し、主な検討エリアは旧敦賀北小学校跡地です。



- ・市民の学びと交流を重視して、人々の内側で起こる『探求』と関係性の中で起こる『創発』の双方を誘発する新しい文化施設とします。
- ・導入機能については、「コミュニティ機能」、「文化機能」、「防災機能」、「公園機能」の4機能に加え、市民意識調査などの結果を踏まえ、「民間収益機能」の導入についても検討します。
- ・導入機能は、従来の縦割りの複合を脱却し、ネットワーク的・融合的なあり方を目指し、「コミュニティ機能」および「文化機能」については、それぞれ別個の機能としてではなく、『探求・創発エリア』として融合的に一体整備をするものとします。
- ・文化機能はコミュニティ機能を核に、文化機能の3つの機能(ナレッジ機能、ギャラリー機能、アーカイブ機能)を重ね合わせながら学びと交流を促進し、施設の利用やイベントなどの開催を通じてシビックプライドを高めます。
- ・交流・学習・鑑賞などを通じた探求と創発を支援し、氣比の杜を訪れる市民と観光客双方の知的好奇心を満たし、感性を触発する施設を目指します。

【文化機能】

ナレッジ機能…ほかの機能連携を重視し、敦賀・氣比の歴史や美術などに関する学びを重視

ギャラリー機能…アートが「感性を触発する」きっかけとなることを期待する展示・鑑賞機能

アーカイブ機能…敦賀や氣比神宮、松尾芭蕉に関する学習や史料の閲覧・体感ができる機能、興味に応じてほかの機能と相互の連携誘導を重視

【公園機能】市民の居場所であると同時に「探求・創発エリア」がにじみだす場であり、市民が長時間滞在できるようにします。また、今まで検討してきた内容や市民意識調査などの意見を踏まえ、氣比神宮の緑地・植生との連続性や天筒山への景観へ配慮するとともに、商店街から氣比神宮を通り北側の廃線敷に抜けられるなど、周辺との連続性、回遊性に配慮します。